

農林水産商工常任委員会提出資料

(令和4年9月20日)

項 目	ページ
■ 農業分野における労働力確保に向けた取組について 【農林水産政策課】……………	2
■ 読売新聞大阪本社、日本海テレビジョン放送との農業・農村の振興に関する パートナーシップ協定締結について 【農林水産政策課】……………	3
■ 鳥取県農作業死亡事故多発警報の発令と緊急啓発活動の実施について 【経営支援課】……………	4
■ 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会の出品牛決定について 【畜産課】……………	5
■ 次世代型林業イノベーションの推進について 【林政企画課】……………	6
■ 鳥取県森林環境保全税のあり方検討会（第3回）の開催結果について 【森林づくり推進課】……………	7
■ 第66回鳥取県植樹祭の開催について 【森林づくり推進課】……………	9
■ ベニズワイガニ漁の解禁について 【境港水産事務所】……………	10
■ スマート漁業の本格運用について 【水産試験場】……………	11
■ 鳥取県産品の情報発信に係る取組について 【販路拡大・輸出促進課】……………	12
■ もっと「食のみやこ鳥取県」地産地消推進事業の取組状況について 【食のみやこ推進課】……………	14
■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課、県産材・林産振興課】……………	15

農 林 水 産 部

農業分野における労働力確保に向けた取組について

令和4年9月20日
農林水産政策課

農繁期の労働力不足解消に向け、昨年7月、「JAグループ鳥取 農業労働力支援協議会」が立ち上がり、農業体験会やマッチングアプリを活用した農業人材確保の取組をはじめました。この度、協議会活動の一つとして産地ボランティア農業体験会を開催しましたので報告します。

また、当該体験会には県職員も参加し、地域農業の実情を知るとともに、社会貢献として産地の労働力不足解消に協力しました。

1 産地ボランティア農業体験会

らっきょうの植え付けや収穫・出荷作業は短い期間に集中することから、産地の人手不足が課題となっており、今回は大学生を中心として農業体験を行うことで、今後のアルバイト等の人材確保へとつなげていく。

(1) 鳥取大学らっきょう収穫・出荷農業体験

日 時 令和4年6月12日(日) 午前9時～午後3時
場 所 福部町らっきょう圃場、らっきょう加工施設等
参 加 者 鳥取大学学生38名
研修内容 らっきょう収穫・出荷作業体験、産地研修会等



<鳥大生によるらっきょう出荷作業体験>

(2) 鳥取環境大学らっきょう植付農業体験

日 時 令和4年8月19日(金) 午前9時～午後3時
場 所 福部町らっきょう圃場、らっきょう加工施設等
参 加 者 鳥取環境大学学生7名、環境大学関係者3名
県職員5名
研修内容 らっきょう植付作業体験、産地研修会等

(3) 参加者の意見・感想

- ・らっきょう農家のところで根切作業をしていることを初めて知った。今後もお手伝いしたい。(鳥大学生)
- ・らっきょう畑は初めてだったが、農家を支えたいという気持ちが強くなった。(環境大学生)
- ・県職員として、地元農業を現場で体験することにより、農家の苦労と努力を知り、地元特産のらっきょうへの愛着がわいた。(県職員)

2 JAグループ鳥取 農業労働力支援協議会におけるその他の取組

「多様な農業人材確保に向けたささえあい事業」を活用して、以下のような取組を実施している。

(1) 求職者と求人者のマッチングアプリの導入及び研修会

- ・農業のアルバイトを募集する取組としてスマートフォンアプリ「1日農業バイト daywork」の活用を開始
- ・農業者等への求人アプリ活用研修会を開催(2/24)
- ・水稻播種作業、らっきょう収穫作業等でマッチングが成立(マッチング成立数242件(東部42件,中部167件,西部33件))



<智林日本語学校留学生による梨選果作業>

(2) 外国人材による農業アルバイト

- ・日本語学校留学生(ネパール等)と産地とのマッチングを行い農業アルバイトにつなげた。
福部らっきょう出荷調整作業8名(5/下～6/中)
福部らっきょう産地で植付作業28名(7/26～8/30)
JA鳥取いなば広域果実選果場で梨選果作業7名(8/24～)

3 今後の対応

- ・産地ボランティア農業体験会へ参加した学生等へ求人アプリを紹介し、学生バイトの確保につなげていく。
- ・今後、様々な品目・産地において農業体験を実施予定
鳥取看護・鳥取短大ミニトマト農業体験(10/8、22 琴浦町)
ブロッコリー農業体験(11月 大山町)、イチゴ農業体験(1月 北栄町)
- ・県職員に対しても各種農業体験の機会を紹介し、農業への理解を進めるとともに社会貢献活動への積極的な参加を促していく。

読売新聞大阪本社、日本海テレビジョン放送との農業・農村の振興に関するパートナーシップ協定締結について

令和4年9月20日
農林水産政策課

県と全国紙である読売新聞大阪本社、地元のグループ企業である日本海テレビジョン放送が農業・農村の情報発信等を行うことにより地方と都市の相互理解を図り、農業・農村地域の活性化を促進することを目的として、パートナーシップ協定を締結しました。

1 協定締結式

- (1) 日 時：令和4年9月7日（水）午後4時から午後4時30分まで
- (2) 場 所：とりぎん文化会館 第3会議室（鳥取市尚徳町）
- (3) 内 容：①協定書への署名 ②記念撮影 ③出席者挨拶
④連携事業概要説明 ⑤質疑応答
- (4) 署 名 者：

職 名	氏 名
株式会社読売新聞大阪本社 代表取締役社長	柴田 岳（しばた たく）
日本海テレビジョン放送株式会社 代表取締役社長	田口 晃也（たぐち あきや）
鳥取県知事	平井 伸治

2 パートナーシップ協定の概要

- (1) 協定期間：令和4年9月7日から令和5年9月30日（1年更新）
- (2) 協定項目及び協定に基づく主な取組
 - 農業・農村に関する情報発信に関すること
取組例：「食と農の架け橋」や「都市と地方」をテーマとしたオンラインシンポジウムの開催
 - 農村と都市との交流促進に関すること
取組例：都市部から鳥取を訪れ、収穫作業などを通して農業や農村を身近に感じられるツアーの実施
 - 新規就農者支援と地域資源の活用に関すること
取組例：新規就農者が作る野菜やジビエなど県産品・食材を利用したレシピ・メニューのコンテスト等の開催
 - その他、地域の活性化に関すること
取組例：県の特産品について首都圏、関西圏などに向けたPRの実施



鳥取県農作業死亡事故多発警報の発令と緊急啓発活動の実施について

令和4年9月20日
経営支援課

鳥取県秋の農作業安全運動期間中の9月11日夕方に南部町内において農作業死亡事故が発生しました。鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会は、2か月連続で農作業死亡事故が発生したため「鳥取県農作業死亡事故多発警報」を発令し、緊急かつ重点的な啓発活動を全県的に実施しています。

1 事故の概要

- (1) 発生日時：9月11日(日) 午後5時30分すぎ
- (2) 発生場所：西伯郡南部町下中谷
- (3) 事故概要：私道を走行中の乗用型トラクターが、道路から外れてのり面を滑り落ち、3.4メートル下の町道に転落した。この事故で、トラクターを運転していた南部町下中谷の80代男性が頭を強く打ち、米子市内の病院に搬送されたが1時間後に死亡した。
トラクターに安全フレームは装着されていたが、シートベルトの着用については不明。事故の原因は、町道に鋭角に接する上り坂の私道へ右折で進入した際にハンドル操作を誤り、もと来た町道へ転落したものと推察されるところ。

2 多発警報の発令

- (1) 発令日：9月14日(水)
- (2) 警報期間：発令日から17日間
- (3) 発令機関：鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会

3 実施している啓発活動

- (1) テレビ・ラジオ等メディアを活用した広報
(テレビ：日本海テレビ、山陰中央テレビ ラジオ：FM山陰、山陰放送)
- (2) 啓発チラシの作成と農業者への配布・伝達
- (3) 行政無線、ホームページ等での周知
- (4) JA営農指導員、農業委員、農業改良普及員、農機販売店等による農業者への注意喚起
(のぼりの掲出とマグネットシートの公用車等への掲示)

【参考】

1 鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会の概要

- (1) 構成：県、JAグループ、農業共済組合、市町村、農機販売店等
会長：谷垣重彦(JA鳥取中央会専務理事)
- (2) 主な活動：農作業安全に関する啓発活動
- (3) 多発警報の発令：農作業死亡事故が1か月に複数回発生、2か月連続して発生、4月からの累計が3名以上の場合「農作業死亡事故多発警報」を発令し、啓発活動を強化する。

※令和4年1月13日に鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会の臨時総会を開催し、「農作業死亡事故警報及び多発警報」の創設と協議会構成員の拡大(全市町村)を決議した。

2 過去の農作業事故の発生状況(令和4年9月14日時点)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
事故数	10	8	12	6	6	12	6	10	4	15	8
うち死亡者数	7	6	6	4	2	1	1	6	1	7	2

3 県の取組

令和4年度予算において「農作業安全対策事業」を拡充(予算額：10,000千円)

【令和4年度予算における新設及び拡充事業】

【新設】農作業死亡事故警報等緊急啓発活動	6,721千円
【新設】担い手に対する農作業安全講習会	1,416千円
【拡充】対話型安全研修会	525千円
【拡充】農作業安全推進リーダー研修会	150千円
【新設】農機具の安全対策の強化	800千円

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会の出品牛決定について

令和4年9月20日
畜産課

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会（以下、「全共」という。）の「肉牛（にくぎゅう）の部」の出品牛が令和4年8月30日に開催された第12回全国和牛能力共進会肉牛の部鳥取県代表牛認定書授与式で確定し、全共の出品牛21頭（種牛14頭、肉牛7頭）がすべて決定しましたので報告します。

1 全共鹿児島大会の出品牛

出品区		出品牛			出品者		
		名号	生年月日	父	住所	氏名	
種牛の部	1区	若雄	登鵬1(とうほういち)	R2.11.12	白鵬85の3	琴浦町	畜産試験場
	2区	若雌の1	あやだいせん	R3.6.15	大山雲	伯耆町	田中裕之
	3区	若雌の2	なおひら5	R3.4.11	幸紀雄	伯耆町	宮崎浩樹
	4区	繁殖雌牛群 (血縁の近い雌牛3頭1群)	しばはくひめ	H30.2.25	白鵬85の3	伯耆町	木嶋真理子
			ひろしらきよ	H28.8.25	百合白清2	大山町	小谷茂
			125ひろさかえ	H28.1.12	百合白清2	伯耆町	木嶋泰洋
	5区	高等登録群 (母、娘、孫の3頭1群)	しばひめ3833	H25.2.25	隆之国	伯耆町	渡邊貞男
			りんえい34	H31.1.28	白鵬85の3	伯耆町	木嶋泰洋
			りんえい341	R2.11.10	百合福久	伯耆町	木嶋泰洋
	6区	総合評価群 (種牛区、4頭1群)	べりいはびねす	R3.4.13	元花江	伯耆町	田中裕之
			さくら	R3.4.11	元花江	伯耆町	宮崎浩樹
			あやひめりい3	R3.3.17	元花江	伯耆町	木嶋泰洋
			いとはな	R3.1.3	元花江	日南町	山形美智也
	肉牛の部	6区	総合評価群 (肉牛区、3頭1群)	最幸	R2.10.8	元花江	伯耆町
花白鵬				R2.10.11	元花江	若桜町	津村将彦
花福国				R2.11.22	元花江	鳥取市	(株)谷口畜産
7区		脂肪の質評価群(3頭1群)	安都鵬	R2.10.8	白鵬85の3	智頭町	(株)うしぶせファーム
			美津重047	R2.10.11	白鵬85の3	伯耆町	前田皓
			関島白鵬	R2.10.29	白鵬85の3	倉吉市	鳥飼雄太郎
8区		去勢肥育牛	隆照久	R2.10.7	隆福也	鳥取市	(有)菊丸ファーム
特別区		てん	R3.6.26	白鵬85の3	倉吉市	農業大学校	

2 今後の出品スケジュール

- 9月23日 全共鳥取県出品者激励会（琴浦町：まなびタウンとうはく）
- 10月 3日 全共出発式（伯耆町：JA鳥取西部南部伯耆営農センター）
- 10月 6日～10日 全共

会場：種牛の部 鹿児島県霧島市牧園町
肉牛の部 〃 南九州市知覧町

次世代型林業イノベーションの推進について

令和4年9月20日
林政企画課

これまで本県では、森林クラウドシステム※1の導入や航空レーザ測量※2データの取得等、全国に先駆けて林業イノベーションの取組を推進してきました。

今年度からは、林業イノベーションの更なる加速を図るため、「次世代型林業イノベーション推進プロジェクト」を実施・展開しており、これまでの取組について、その概要を報告します。

※1：樹種や材積などの森林情報を市町村や森林組合と一元管理するためのシステム

※2：航空機から地上にレーザを照射し、地上の森林情報や地形情報を精微に測量する方法

1 プロジェクトの概要等

(1) 概要

- 森林ビッグデータ等を活用した課題解決提案型のモデル事業を実施し、民間企業や大学等のノウハウや新たな視点を取り込んで、森林・林業分野で長年解決できなかった課題解決に繋げるものである。

(2) 全体スキーム

- 本プロジェクトの全体スキーム自体も新たな試みとなることから、検討会の中で学識経験者の助言をいただきながら随時見直しを行っている。

<現行の想定スキーム>

区分	令和4年度												令和5年度				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～	3月			
検討会（テーマ設定）																プロトタイプ開発等	成果報告会
参加者公募																	
メンタリング																	
コンペティション																	
事業実施者の決定																	

公募と並行して参加希望者へのメンタリングを実施

アイデア部門、システム開発部門から各1者選定

2 これまでの取組状況

- 令和4年5月16日に本年度初めての検討会を開催し、これまでに4回実施した。検討会では、本プロジェクトの核となる「公募テーマ」について議論した。
- 県内大学生や高専・高校生をターゲットとした「アイデア部門」と異業種をターゲットとした「システム開発部門」の2部門に分けて公募を行う旨、決定された。
- 現在、「原木供給量の増加」、「森林吸収源対策」、「山地災害防止」、「森林所有者の関心向上」等、本県の森林・林業施策の柱となる課題を中心に、最終的な公募課題の検討を進めている。

<委員構成>

委員名・所属	特徴
寺岡委員（鹿児島大学教授）	・日本を代表する林業イノベーションの専門家。
矢部委員（鳥取県林業試験場上席研究員）	・森林の防災管理が専門。県内林業行政に精通。
露木委員（自伐林家）	・林業実践者。県内森林J-クレジット取得を先駆けて実践。
平賀委員（八頭町地域おこし協力隊員）	・（元）新たな森林管理システム推進員。市町村行政に精通。

3 今後の取組（予定）

令和5年1月	参加者公募開始
〃 3月	開発事業者の決定
〃 4月～	プロトタイプ（試作品）の開発
令和6年3月	成果報告会の開催

鳥取県森林環境保全税のあり方検討会（第3回）の開催結果について

令和4年9月20日
税 務 課
森林づくり推進課

鳥取県では、県民共通の財産である森林を「県民全体」で守り育てていく取組の一環として、平成17年4月より森林環境保全税を導入しています。令和4年度が第4期の最終年度となることから、本税の存続の可否を含むあり方を検討するため検討会を設置しており、このたびその第3回検討会を開催しましたので結果を報告します。

1 検討会概要

- (1) 日 時 令和4年8月31日（水）午後2時から午後4時まで
- (2) 開催方法 オンライン開催
- (3) 出席者 委員6名（学識者2名、納税者代表1名、市町村代表2名、県1名）
- (4) 内 容

第2回検討会における委員意見に対する対応方針を説明した上で、本税の今後のあり方について委員に協議いただいた結果、以下の方向性となった。

<基本的方向性>

- ・本県の森林には引き続き取り組むべき課題があり、県が目指す森林の姿の実現には、安定した財源により確実に取り組んでいく必要があることから、今後も継続が有効である。

<税率・適用期間>

- ・税率、適用期間は据置き
税率…個人：年額500円、法人：年率5%
適用期間…5年間

<名称>

- ・森林環境税（国税）との混同を避け、認知度を高めるためにも、より親しみやすく、県民参加の森づくりをイメージしやすい名称へ変更することが望ましい。

(5) 主な意見

- ・本県の森林の課題解消には、県民で守り育てていく仕組みとともに財源の確保が重要であり、本税の存続が有効。
- ・県が目指す「あるべき森林の姿」を踏まえて、事業を実施するにあたっては、十分に内容を検討し、広く県民の理解が得られるように努めること。
- ・今後の財政需要額を踏まえ、税率は現行の維持が適当。効果検証には一定程度の事業実施期間が必要なことから、5年間の時限措置とすることが適当。
- ・認知度の向上に取り組むこと。周知・広報活動、事業への県民参加の推進、公益的機能の発揮についての検証を含めた事業の成果や実施状況の公表等、県民に理解していただくための工夫が引き続き必要。
- ・市町村との役割分担や財政需要については一定の整理がされたが、使途事業の運用面については、市町村との調整・連携を引き続き行うこと。

2 今後のスケジュール

今後、パブリックコメントを行った上で、次回検討会で報告書のとりまとめを行う予定である。

令和4年 9月下旬～10月上旬	パブリックコメント
10月17日	第4回あり方検討会（報告書のとりまとめ）
11月議会	鳥取県税条例改正案の上程

3 森林環境保全税を活用する事業（案）

区分	使途事業（案）		見直し内容・理由	
公益的機能の発揮のための森林整備	間伐推進	保安林・普通林の間伐への上乗せ補助 森林所有者が行う間伐の支援	継続	・間伐の遅れの解消のために必要である
		保安林内の作業道整備への上乗せ補助 森林所有者が行う保安林内の作業道整備の支援		
	竹林対策	竹林整備事業（竹林の適正管理） 竹林の抜き伐り・皆伐、管理道等の開設、伐採竹搬出の支援	一部見直し	・対象とする竹林のエリアを限定する ・事業実施主体から市町村を削除する
竹林の林種転換・保育（除伐）への上乗せ補助 竹林の伐採・植林、人工林への侵入竹駆除の支援		・対象とする竹林のエリアを限定する ・林種転換の推進のためエリア内で支援を拡充する		
森林景観対策事業 国立公園等の景観の向上を図るための枯死木の伐採等	・景観の回復・向上を図る上で特に重要なものに限り県直営事業として見直しを行う			
森林を 守り育てる 意識の醸成	とっとり県民参加の森づくり推進事業 森林を守る意識を高めるための森林体験企画実施の支援		継続	・県民参加の推進のため、新たな担い手の参入促進に向けた要件緩和・拡充を行う
	制度の普及啓発 税の目的、仕組み、使途事業などの県民周知（各種広報）			
	とっとり環境の森緊急整備事業 県が所有者に代わって行う人工林の強度間伐等		廃止	・必要な箇所は初期に実施済みであるため事業完了とする ・別事業の活用が進んでいるため廃止とする
	モザイク林造成への上乗せ補助 モザイク林造成のための小規模皆伐に係る再生林の支援			

4 あり方検討会 委員名簿

（令和4年8月時点）

区分	氏名	団体（所属）名 ・ 職名
学識経験者	沼尾 波子（座長）	東洋大学国際学部教授（地方財政論）
	荒田 鉄二	公立鳥取環境大学環境学部教授（環境哲学）
納税者代表	下浦 友紀	税理士
市町村代表	永瀬 良太	米子市総務部長
	矢部 整	智頭町副町長
県	松田 繁	鳥取県総務部長

5 あり方検討会 開催経緯

（1）第1回あり方検討会開催概要

ア 開催日 令和4年3月28日（月）

イ 主な検討事項

- ・森林環境保全税（県税）のこれまでの事業実績及び事業効果等の検証・評価
- ・森林環境税（国税）の創設を踏まえた両税の関係性の整理
- ・森林環境保全税（県税）により取り組むべき財政需要

（2）第2回あり方検討会開催概要

ア 開催日 令和4年7月1日（金）

イ 主な検討事項

- ・第1回検討会における委員意見を踏まえた対応方針の提示
- ・6月に実施した県民アンケート等の結果を踏まえた今後のあり方

第66回鳥取県植樹祭の開催について

令和4年9月20日
森林づくり推進課

植樹活動等を通じて森林の役割や大切さ、森・川・海のつながりを情報発信し、広く森林づくり活動に県民参加を呼び掛けるとともに、第64回全国植樹祭の成果を継承し、「とっとりグリーンウェイブ」の気運を更に高めるため、第66回鳥取県植樹祭を開催します。

なお、県内の新型コロナウイルス感染状況によっては中止を含め検討します。

- 1 テーマ 「雲海と 緑はぐくむ おしどりの里」
- 2 日時 令和4年10月22日(土) 午前10時から午後1時まで
- 3 場所 日野郡日野町中菅「^{たきさんこうえん}滝山公園」
- 4 主催 鳥取県、日野町、公益社団法人鳥取県緑化推進委員会
- 5 協力 鳥取日野森林組合、有限会社米子造園
- 6 来場者数 県民、みどりの少年団など250人
- 7 開催概要

(1) 式典(午前10時から)

- ・オープニング 神楽上演(県立日野高等学校郷土芸能部)
みどりの少年団入場行進

・表彰

○県植樹祭テーマ

最優秀賞: ^{まえの}前野 ^{よういち}洋一さん(米子市)

優秀賞: ^{はしもと}橋本 ^{かずお}和夫さん(鳥取市)

○鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰

^{もりた}森田 ^{あきふみ}章文さん(鳥取市)

^{いいの}伊井野 ^{まさふみ}政文さん(若桜町)

山守電気共同利用農業協同組合(倉吉市)

伯耆町立二部小学校(伯耆町)

鳥取日野森林組合(日野町)

・森林・みどりへの思い発表

みどりの少年団代表ほか

・代表植樹(みどりの少年団が育てたミツバツツジ)

(2) 参加者植樹(午前11時から)

ミツバツツジ、ソメイヨシノ、エドヒガンを植樹

(3) 森林・木にふれる催し(午前11時から)

- ・「小さなトンボ王国」ビオトープ見学会
- ・自然散策(^{たきやま}瀧山神社・^{りゅうおうだき}龍王滝ルート)

(4) その他

- ・日野町特産物等の販売、緑化苗木無料配布

・パネル展示

(日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取、みどりの少年団による苗木スクールステイ、とっとり共生の森、J-クレジット、県産材需要拡大への取り組み等PR)



◆ 第67回(令和5年度)の開催予定地

令和5年 春 岩美町(大谷海岸広場)

(同町での開催は平成3年以来、32年ぶり)

ベニズワイガニ漁の解禁について

令和4年9月20日
境港水産事務所

9月1日にベニズワイガニ漁が解禁となり、境漁港で9月6日に初水揚げが行われましたので、以下のとおり報告します。

1 初水揚げの結果

	初水揚げ日	水揚量	水揚金額	入港隻	最高値	平均単価
令和4年	9月6日	10トン	5,876千円	1隻	62,000円/箱	17,082円/箱
令和3年	9月7日	41トン	12,186千円	3隻	55,000円/箱	8,817円/箱

(注) 1箱当たり30kg

2 近年の水揚推移（一般社団法人漁業情報サービスセンター調べ）

漁期年	水揚量（トン）	水揚金額（億円）	単価（円/kg）
令和3年（2021年9月～2022年6月）	4,838	29.94	619
令和2年（2020年9月～2021年6月）	5,155	19.17	372
令和元年（2019年9月～2020年6月）	4,719	18.55	393

3 初セリ式の様子（9月6日（火）午前6時45分～、4号上屋内）

境港カニ水揚げ日本一PR実行委員会が主体となって初セリ式を実施した。



<境港カニ水揚げ日本一PR実行委員会>

- 会長：越河 彰統（こしかわ あきのり）（日本海冷凍魚(株)代表取締役社長）
- 構成：生産者、荷受（三卸）、境港鮮魚仲買協同組合、境港観光協会、皆生温泉旅館組合、境港商工会議所、境港水産振興協会、境港市、鳥取県等
- 目的：「境港カニ水揚げ日本一」を各種イベント等を通じて県内外に発信。境港に水揚げされるベニズワイガニ及びズワイガニの付加価値向上、消費の拡大、魚食の普及、ひいては境港の水産業及び観光業の振興を図る。

<今年度のベニズワイガニPRスケジュール>

- ・漁船出漁式（8月31日（水））
- ・初セリ式（9月6日（火））
- ・境港市内保育所でのカニ集会（10月～11月）
- ・JRA阪神競馬場の境港特別杯（12月10日（土）、11日（日））
- ・第20回カニ感謝祭（令和5年1月15日（日））
- ・蟹取県ウェルカニキャンペーン（9月～2月末）と連携したPR



昨年のカニ集会の様子

<資源管理の取組>

- ・平成17年から、小型ガニを逃がすため脱出口（内径9.5cm）を付けた漁具に改良している。
- ・平成19年9月から、国が大臣許可漁業の日本初の魚種として、IQ（漁船毎に年間漁獲量の上限を割り）を導入した。
- ・令和3年漁期からは、漁獲割当を漁期開始時に全量配分せず一部を留保し、留保分を漁期中に追加配分することによって、柔軟な管理が可能となっている。
- ・今漁期の日本海べにずわいがに漁業（大臣許可）の漁獲割当総量は前年漁期と同じ5,930トンである。

<参考>

- ・日本海べにずわいがに漁業（大臣許可）の船は11隻（境漁港に水揚げする船10隻、香住漁港に水揚げする船1隻）である。
- ・境漁港に水揚げする船は、鳥取県船2隻、島根県船6隻、新潟県船2隻、合計10隻である。
- ・令和2年におけるベニズワイガニの境漁港の水揚シェアは全国の48%で日本一であり、2位は香住漁港である。

沿岸漁業の操業の効率化を推進するため、九州大学と共同開発（R2～3国委託事業）した「海中の天気予報」をスマートフォン用Webページ（無料）で沿岸漁業者に提供していましたが、この度、より分かりやすく使いやすいアプリケーション（有料）が完成したため普及配布を開始しました。これにより、出漁前に確認できる情報量が増えるとともに操作時間が短縮することから、漁場探索時間短縮や無駄な出漁を減らすことができ、一層の操業の効率化に繋がります。なお、既存のスマートフォン用Webページは今後も無料で利用可能です。

1 海中の天気予報

本県沿岸域の最大7日先までの海況予測（水深別の潮流・水温・塩分）を、令和3年8月から公開している。

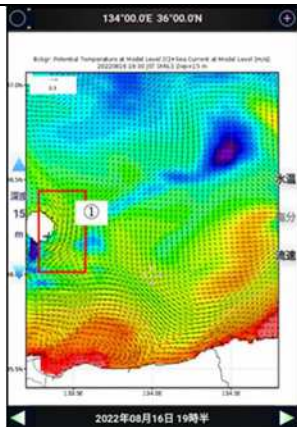
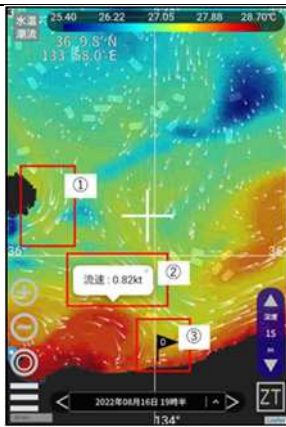
※出漁の可否、漁具の投入方向等の判断のため、沿岸漁業者は特に潮流情報を重要視している。

○現在、田後～境港の沿岸漁船計19隻（延べ21隻：潮流9隻、水温・塩分12隻）が海洋観測に協力している。

○県は漁業者から収集した観測データを九州大学へ転送し、大学が海況予測計算を実施している。

○今年度中に新たに17隻が潮流観測に協力予定であり、予測精度の向上が期待される。

2 「海中の天気予報」の閲覧方法

閲覧方法	Webページ	アプリケーション（アプリ名：よちよう）
普及配布	配布済（R3.8～希望した漁業者約80名）	完成（R4.8.25～配布中 9月中に完了予定）
対応OS	アンドロイドOS、iOS	アンドロイドOSのみ
開発・提供者	九州大学	いであ(株)
表示（例：水温と潮流）	 <p>①潮流表示は静止図 ②流速の数字表示なし (矢印の向きで流向、矢印の長さで流速 (m/s) を表示)</p>	 <p>①潮流はアニメーションで表示 ②流速は数値（ノット）で表示 ③見たいポイントを登録できる ・落雷、竜巻、気圧配置予報も表示</p>
利用料	無料	有料 ・潮流観測協力者は無料 ・普及促進のため年間使用料を県が負担（1年目限り） ・2年目以降は漁業者が負担（約4,500円/月）
漁業者の声（いか釣り）	これまで出漁後に魚群探知機を見て漁場を探していたが、今は出漁前にある程度漁場を決めることができるようになり、漁場探索時間が3割程度減った。	Webページより、非常に分かりやすく活用できる。

3 今後の取組（漁船からの潮流情報提供システム）

○漁業者から、出漁判断、漁場探索の参考情報として、「海中の天気予報」に加え、潮流観測に協力している漁船の観測データも見たいと要望があった。

⇒協力漁船が観測した潮流データをほぼリアルタイム（30分毎）で閲覧・電話応答できるシステムを現在作成中（R4～R5開発、R6普及）。

鳥取県産品の情報発信に係る取組について

令和4年9月20日
販路拡大・輸出促進課

梨、すいかなどの鳥取県産品の知名度向上、ブランド化を図るため、次のとおり国内外において情報発信を行っていますので報告します。

1 国内での情報発信

(1) 卸売市場でのPR

県産二十世紀梨の初販売日を迎えるにあたり、大阪市中央卸売市場において、3年ぶりに産地側が出席した初販売セレモニーを開催した。（東京都中央卸売市場は、JA全農とっりのトップセールスのみ）

◆鳥取二十世紀梨初販売セレモニー

- 日時：8月25日（木）7時30分
- 場所：大阪市中央卸売市場本場（主催：JA全農とっとり）
- 内容：
 - ・JA全農とっとり運営委員会 栗原会長、亀井副知事の挨拶
 - ・PRコーナー（ポスター・のぼり・二十世紀梨等を展示）設置、記念品（二十世紀梨、梨ティッシュ、梨チラシ）の配布による二十世紀梨のPR
- 結果：京阪神：販売数量 20,847箱、単価 607円/kg
 （昨年度）販売数量 12,225箱、単価 594円/kg
 ※初販売の最高値：200,000円/箱（10kg箱）[昨年は88,800円/箱]（大阪市中央卸売市場）



8/25 二十世紀梨初販売セレモニー
※初販売の最高値：200,000円/箱（10kg箱）[昨年は88,800円/箱]（大阪市中央卸売市場）

(2) 百貨店・量販店等でのPR

試食宣伝販売をはじめ、県による梨購入者へのプレゼントキャンペーンや、WEB物産展による梨販売等を実施している。

◆首都圏等での梨フェア開催状況（主催：県）

区域	店舗	時期	内容
関西圏	シャカリキ (Kiss FM KOBE)	8/25 (木) 生放送	梨の紹介、販売PRの紹介
	CLasism2022 秋号	8/31 (水) 掲載	梨の紹介
	よんちゃんTV (毎日放送)	9/1 (木) 生放送	二十世紀梨PR、視聴者プレゼント
	松坂屋高槻店	8/26 (金) ~ 27 (土)	鳥取県産梨販売PR
	大丸神戸店	8/31 (水) ~ 9/6 (火)	鳥取県産梨販売PR
	大丸梅田店	9/7 (水) ~ 13 (火)	鳥取県産梨販売PR
	大丸梅田店、大丸神戸店、大丸芦屋店、松坂屋高槻店、阪急高槻店、三ノ宮阪急、ミートモリタ屋、いしはら商店、加西SA上り、麒麟のまち	8/下旬 ~ 9/30 (金)	鳥取梨キャンペーン ※各店の販促資材がなくなり次第終了
首都圏	とっとり・おかやま新橋館		
	スーパーいなげや 133店舗		
	新宿高野	8/30 (火)	オンラインフルーツ教室
	三越銀座店	8/31 (水) ~ 9/6 (火)	鳥取県産梨販売PR
	川崎アゼリア	8/31 (水) ~ 9/5 (月)	鳥取県産梨販売PR
名古屋	ジェイアール名古屋タカシマヤ	8/27 (土) ~ 28 (日)	鳥取県産梨販売PR
WEB	みんなで応援! とっとりWEB マルシェ	8/1 (月) ~ 9/30 (金)	WEB物産展 梨販売等



鳥取県産梨に貼付している応募シール2枚集めて応募すると、50名に「鳥取和牛」が当たるキャンペーン
【期間】8/下旬~9/30



みんなで応援!
とっとりWEB マルシェ
【期間】8/1~9/30

2 海外での情報発信

(1) 香港での PR

◆鳥取すいかフェアの開催

ア イオン香港 12 店舗

○期間：7月7日（木）～ 8月上旬

イ 香港そごう 1 店舗

○期間：7月6日（水）～ 19日（火）



香港そごうでのフェアの様子

◆国内在住香港人インフルエンサーによる情報発信

○公開：8月31日（水）～（取材期間：7/18～20）

○内容：香港向けに旅行情報等を発信するインフルエンサー風信子（Facebook フォロワー：約 51,000 人）を招聘し、すいか、星空舞、鳥取和牛、ねばりっこ等の県産品を取材いただき、Facebook、YouTube 等で情報発信を行った。



香港に向けた情報発信

◆香港百貨店での山陰食品展の開催

○期間：7月27日（水）～ 8月3日（水）

○内容：香港百貨店「そごう」にて、菓子、加工品、アルコールを中心に鳥根県の物産とともに販売会を実施した。



香港そごうでの山陰食品展の様子

◆鳥取和牛レストランフェアの開催

ア 焼肉レストラン「和牛焼肉純」2 店舗（7 年連続開催）

○期間：9月1日（木）～ 30日（金）

イ 広東料理レストラン「西苑酒家」2 店舗（5 年連続開催）

○期間：9月1日（木）～ 30日（金） ※メディア試食会も実施

ウ 焼肉レストラン「焼肉臻（しん）」（3 年連続開催）

○期間：9月7日（水）～ 10月4日（火） ※メディア試食会も実施

(2) 台湾での PR

◆台湾の日本好きニュースメディアでの二十世紀・新甘泉梨紹介記事を掲載

○期間：8月29日（月）～ 9月27日（火）

○内容：月間ユニークユーザー50万人の9割以上が女性で訪日リピーターでもある Web メディア「Japaholic」内で、二十世紀梨・新甘泉梨及び鳥取県の紹介記事と、梨のプレゼント広告を掲載している。



台湾 Web メディア「Japaholic」記事

◆台中市高級スーパーでの「新甘泉」店頭 PR 販売

○期間：9月9日（金）～ 11日（日）

○内容：高級スーパー「裕毛屋」にて中秋節の贈答需要にあわせた新甘泉梨の PR 販売を実施した。

(3) 韓国での PR

◆ABC キッキングスタジオコリアにて鳥取県の郷土料理情報発信

○期間：9月16日（金）

○内容：韓国ソウルのスタジオにてオンラインによる「いただき」（県西部の郷土料理）と「つみれ汁」の料理教室を開催するとともに、県の食・観光情報を発信した。（参加者：約 30 名）

(4) シンガポールでの PR

◆日本料理店「TEPPEI」での鳥取メニューフェア及び系列店舗での県産酒フェア開催

ア 鳥取メニューフェア

○期間：6月1日（水）～ 30日（木）、9月1日（木）～ 30日（金）

○場所：Teppeï Japanese Restaurant（哲平）

○内容：鳥取県産食材を活用したメニューフェアを開催し、おまかせコースとして提供している。

イ 県産酒フェア

○期間：9月1日（木）～ 30日（金）

○場所：Teppeï Japanese Restaurant（哲平）、

Hana-hana Japanese Restaurant（華花）、Man Man Japanese Unagi Restaurant（鰻満）

○内容：県産日本酒をドリンクメニューに加えるとともに、県産日本酒の飲み比べセットを提供している。



シンガポール「TEPPEI」でのフェア

もっと「食のみやこ鳥取県」地産地消推進事業の取組状況について

令和4年9月20日
食のみやこ推進課

地産地消を推進する『もっと「食のみやこ鳥取県」地産地消推進月間』の実施やSNS等で県産食材を活用したメニュー等のコンテンツを発信し、更なる地産地消を推進していますので報告します。

1 もっと「食のみやこ鳥取県」地産地消月間

小売事業者等と連携して県産食材等に対する県内消費者の愛着や関心をさらに高め、消費拡大（地産地消）を推進する『もっと「食のみやこ鳥取県」地産地消推進月間』を実施する。

内 容：地産地消月間の TVCM、SNS での発信、イベントや参加スーパー等での共通のロゴ・POP 掲示など特設コーナーの設置による機運醸成、購入促進のための特典の提供等

実施期間：9月23日(金・祝)～11月3日(木・祝)

情報発信：合計 352 回以上

ロゴマーク：



〔(内訳) TVCM (3局) 計 72 本
ケーブルテレビ(2局) 計 280 回以上〕

キャッチコピー：もっと 地もって 食べよっと

協力店舗：69 店舗 (9月7日現在、募集中)

特典提供例：小売店舗で県産商品を購入して商品の 5%OFF

小売店舗で県産品購入者に地産地消ポイント (自社ポイント) 付与 (ポイント実証)
飲食店で県産食材を使用したメニュー1,000 円以上注文された方に小鉢サービス 等

2 食のみやこ鳥取県コンテンツ造成発信強化事業

県内消費及び周遊を目的に旬の県産フルーツ等を使ったスイーツ特集記事の県内配布フリーペーパー等を宿泊施設、観光案内所等へ配架や特集記事と連動したデジタルスタンプラリーを実施する。

(1) フリーペーパー等による県産フルーツ等スイーツ特集記事

発行部数：163,900 部、主な配布先：県内観光案内所、観光施設、コンビニ、宿泊施設 (県独自配布) 等

【夏】ひんやりスイーツ特集 (R4. 7月実施済)

参加店舗：24 店舗、主な食材：ブルーベリー、メロン、イチゴ、桃、梨 等

【秋】秋スイーツ特集 (R4. 10月発行予定)

参加店舗：36 店舗程度、主な使用食材：旬を迎える県産果物・野菜等

【冬】いちごなどスイーツ特集 (R5. 1月発行予定) 掲載予定。参加店舗等調整中

(2) 特集と連動したデジタルスタンプラリー

内 容：特集記事に掲載された2店舗以上でスイーツ巡りをすると素敵な景品をプレゼント
実施期間：【秋】10月24日～12月31日 (特集記事の発行から2ヶ月程度) (冬も実施予定)

3 県産食材グルメ情報発信ポータルサイト「TORI TABE (とりたべ)」の開設

SNS 等発信力のある県民「TORI TABE (とりたべ) ローカルインフルエンサー (TLI)」が推す「地元グルメ」(生鮮食品含む) の魅力の食レポを通じてポータルサイト「TORI TABE(とりたべ)」で発信し、地産品への関心喚起、観光関連サイト等との連携により県内外の観光客に「食・観光」情報を同時に提供する。

(1) TORI TABE (とりたべ) URL : <https://toritabe.jp/>

TLI が県産食材使用メニューを提供する店舗等の食レポを「TORI TABE (とりたべ)」に掲載。TLI 自身や県の SNS 等の情報拡散とともに観光関連サイトと連携して周遊観光客に対して情報発信する。

(2) TORI TABE (とりたべ) ローカルインフルエンサー (TLI)

登録者：15 名 (応募者の SNS フォロワー数 2,000 以上及び県内在住または県内勤務者等で鳥取県の食の発信を強く協力いただける方を県で選定。登録者はフリーアナウンサー、会社員、大学生、自営業、アイドル等様々な分野で活躍中。)

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和4年9月20日
農地・水保全課
県産材・林産振興課

【変更分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
農地・水保全課 (東部農林事務所)	西谷地区地域ため池(上堤)改修工事(2工区)	八頭郡 八頭町 西谷	株式会社 桜宮 代表取締役 田中 弘樹	(当初契約額) 138,710,000円	令和3年10月20日 ～ 令和4年9月5日	(当初契約年月日) 令和3年10月20日	【工事内容】 ため池改修工事 堤体工 盛土工 V=9,770m ³ 取水施設工 L=38.2m 洪水吐工 L=29.4m 仮設工 水替工 1式 仮設道路 1式 ○変更内容 残土運搬先変更(運搬距離増)による増額及び搬出調整による工期の延伸	
				(第1回変更後契約額) 130,636,000円 (変更額) △8,074,000円)		(第1回変更契約年月日) 令和4年3月14日		
				(第2回変更後契約額) 133,989,900円 (変更額) 3,353,900円)	(変更後工期) 令和3年10月20日 ～ 令和4年10月28日	(第2回変更契約年月日) 令和4年9月2日		
農地・水保全課 (西部総合事務所農林局)	陰田地域ため池工事	米子市 陰田町	株式会社 大協組 代表取締役 小山 典久	(当初契約額) 97,900,000円	令和3年11月30日 ～ 令和4年7月19日	(当初契約年月日) 令和3年11月29日	【工事内容】 ため池改修工事 堤体工 盛土工 V=1,064m ³ 取水施設工 L=27.9m 洪水吐工 L=26.2m 仮設工 水替工 1式 1号仮設道路 1式 2号仮設道路 1式 ○第2回変更内容 盛土材に使用する他工事残土の搬入遅れによる工期の延伸 ○第3回変更内容 週休2日モデル工事の実績として、4週6休以上の現場閉所を達成したことによる増額	
				(第1回変更後契約額) 101,783,000円 (変更額) 3,883,000円)	(変更後工期) 令和3年11月30日 ～ 令和4年8月30日	(第1回変更契約年月日) 令和4年3月15日		
					(変更後工期) 令和3年11月30日 ～ 令和4年9月26日	(第2回変更契約年月日) 令和4年8月22日		
				(第3回変更後契約額) 102,946,800円 (変更額) 1,163,800円)		(第3回変更契約年月日) 令和4年9月14日		

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
農地・水保全課 (中部総合事務所農林局)	般若ため池改修工事 (その1)	倉吉市 般若	福井土建株式会社 代表取締役 福井 重秋	(当初契約額) 115,500,000円	令和3年3月29日 ～ 令和3年10月25日	(当初契約年月日) 令和3年2月12日	【工事内容】 ため池改修工事 堤体工 (17,327) 掘削工 V= 17,325m3 (14,218) 盛土工 V= 14,089m3 (内改良工V=4,184m3) 洪水吐工 L=26.6m 取水施設工 L=30.4m 土取場工 (11,193) 掘削工 V=11,050m3 土取場仮設道路 1式 仮設工 工事用道路 1式 水替工 1式 ○変更内容 コンクリート殻等の産業廃棄物処分の精算に係る減額	
				(第1回変更後契約額) 123,990,900円 変更額 (8,490,900円)	(変更後工期) 令和3年3月29日 ～ 令和3年12月24日	(第1回変更契約年月日) 令和3年10月22日		
				(第2回変更後契約額) 124,771,900円 変更額 (781,000円)	(変更後工期) 令和3年3月29日 ～ 令和4年3月15日	(第2回変更契約年月日) 令和3年12月20日		
					(変更後工期) 令和3年3月29日 ～ 令和4年5月31日	(第3回変更契約年月日) 令和4年3月14日		
					(変更後工期) 令和3年3月29日 ～ 令和4年9月12日	(第4回変更契約年月日) 令和4年5月26日		
				(第5回変更後契約額) 124,355,000円 変更額 (△416,900円)		(第5回変更契約年月日) 令和4年9月7日		

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
県産材・林産振興課 (中部総合事務所農林局)	林業専用道富海福山線開設工事 (福山工区)	東伯郡三朝町 福山ほか	株式会社クラー 代表取締役 西村 博文	(当初契約額) 124,190,000円	令和3年4月1日 ～ 令和3年12月23日	(当初契約年月日) 令和3年3月22日	【工事内容】 施工延長680m(320m) 掘削工 19,821m ³ 盛土工 1,274m ³ 土場施設 14,443m ³ 植生工 6,112.5m ² 路盤工 3,716.8m ² 補強土壁工 3箇所 大型かご枠 2箇所 ○変更内容 令和4年7月、8月に相次いで発生した局地的な大雨により、 施工区間の複数箇所での路面の洗掘や盛土法面の浸食が発生し、その復旧のため工程が遅延したことによる工期の延長	
					(変更後工期) 令和3年4月1日 ～ 令和4年3月25日	(第1回変更契約年月日) 令和3年12月13日		
				(第2回変更後契約額) 125,577,100円 変更額 1,387,100円	(変更後工期) 令和3年4月1日 ～ 令和4年8月31日	(第2回変更契約年月日) 令和4年3月22日		
					(変更後工期) 令和3年4月1日 ～ 令和4年9月30日	(第3回変更契約年月日) 令和4年8月25日		